

オーストラリア学会 第35回地域研究会(関西例会)

オーストラリアにおける アジア系移民／留学生の新たな動向

主催 オーストラリア学会

共催 追手門学院大学 オーストラリア・アジア研究所

*会員以外の方も参加できます(入場無料)

日時: 2024年 **11月30日(土)** 14:00~17:00

会場: 追手門学院大学 茨木総持寺キャンパス 5階 A543 教室

※JR 京都線「JR 総持寺」駅から北へ徒歩約15分、阪急京都線「総持寺」駅から北へ徒歩約20分、
阪急京都線「茨木市」駅から近鉄バス「東和苑系統」利用、「追手門学院大学前」下車
(近鉄バス乗り場、時刻表などは各サイトでご確認ください)

参加申し込み

- ・氏名・所属を明記のうえ、11月24日(日)までに下記アドレス宛にお申し込みください。
 - ・研究会終了後、JR 茨木駅周辺で懇親会を予定しています。
 - ・会場予約の都合上、懇親会参加希望の有無も必ずご記入ください。
- ✉ tomou5@world.ryukoku.ac.jp (関西例会担当理事: 龍谷大学 友永雄吾)
- ・図書館3F では、戦前のシドニーで暮らした日本人商社員の写真を展示しています。

発表内容

「西オーストラリア州パースのブータン人社会 – デジタル空間の活用に着目して –」

菊川 翔太 (京都大学アジア・アフリカ地域研究研究科 院生)

【要旨】 近年、ヒマラヤの国ブータンから、オーストラリアやカナダ、イギリスなど英語圏への出稼ぎ、留学、移住が急増している。その中でも最も顕著にブータン人が増加しているのが西オーストラリア州パースである。本発表では、パースにおけるブータン人コミュニティの拡大要因およびその様態を、1960年代以降のブータンの新聞紙の記述、2024年3月に実施した現地調査に加え、Facebook や TikTok などデジタル空間の活用戦略にも着目して論じる。

「日豪の外国人留学生受け入れ政策の変遷とベトナム人留学生の移動パターンへの影響」

トラン ラム ティエン ニー (龍谷大学大学院国際学研究科 院生)

【要旨】 本発表は、日豪両国の外国人留学生受け入れ政策がベトナム人留学生 (VIS) の移動パターンに与える影響を考察する。そのために批判的談話分析と「願望—能力」フレームワークを調査手法に用いて、政策の背景と VIS の移動パターンを検討する。この分析により、日本が外国人留学生に就職機会や長期滞在の利点を提供している一方、オーストラリアは「アクセル」と「ブレーキ」を併用した政策が取られており、外国人留学生が不安定な将来を抱えていることが明らかにされる。